

2025年1月27日

全従業員の6割、約1万9千人の認知症サポーターを養成『認知症サポーターキャラバン』特別賞を受賞

株式会社イトーヨーカ堂（本社：東京都品川区、代表取締役社長：山本哲也）は、このたび、全国キャラバン・メイト連絡協議会が主催する「認知症サポーターキャラバン令和6年度表彰式」において“特別賞”を受賞したことをお知らせいたします。

イトーヨーカ堂は2014年より、店舗における高齢のお客様に対する接客についてのご要望等のお問い合わせが本部に増加した事を受けて、認知症サポーター養成の取り組みを開始いたしました。この取り組みの中で、地域の行政や地域包括支援センター等との連携を強化してきました。これまでに、全従業員の6割、約1万9千名の認知症サポーターを育成し、店舗における従業員の適切な接客対応やサービス提供、地域住民としてのサポーター活動を通じて地域貢献を進めてきました。

今回受賞した“特別賞”は、イトーヨーカ堂が認知症サポーターの養成や自治体との協定締結に積極的であり、協定をスタート地点として高齢の方を含む多様な住民が集う場を提供することを通じて、介護予防や見守りにも貢献するコミュニティの拠点となっている点が評価されました。

今後も、地域社会に貢献する活動を継続し、より良いサービスの提供を目指してまいります。



イトーヨーカ堂：サステナビリティ推進部総括マネジャー 小山 遊子

<認知症サポーターとは>

「認知症サポーター」は、認知症について正しく理解し、偏見を持たず、認知症の人やその家族を温かい目で見守る「応援者」です。その上で、自分のできる範囲でサポーターとして活動しています。認知症サポーター養成講座で得た知識を生かし、近所で気になることがあればさりげなく見守る、まちなかで困っている人がいたら手助けすることも立派な活動の一つです。

「認知症サポーター」は、自治体（市町村・都道府県）または企業・職域団体（従業員を対象とする）が実施する「認知症サポーター養成講座」（90分）を受講すれば、だれでも認知症サポーターになることができます。

以上